

NSF、ハラスメントを断固として容認しないとの声明を発表（1月25日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は、ハラスメントの防止と、科学界における性差別撲滅に対する強いコミットメントを表明した。昨今、科学界におけるセクシャルハラスメントに関する複数の事例が報告されたことを受け、NSFは、NSF及びその助成を受給する団体は、多様性を許容し、差別をなくす必要があることを改めて強調し、NSF助成受給研究機関においてハラスメント被害を受けた者は、各機関の1972年高等教育修正法第9条（Title IX）順守担当者もしくはNSFの多様性・包括局（Office of Diversity and Inclusion）に速やかに報告することを奨励した。またNSFは、司法省（Department of Justice）及び教育省（Department of Education）と協力して、NSFから助成を受ける大学及び研究機関による順守状況を確認し、Title IX規則を順守しない機関に対しては、助成を打ち切る可能性もあるとの姿勢を明らかにしている。

National Science Foundation, The National Science Foundation (NSF) will not tolerate harassment at grantee institutions
http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=137466&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click